

事業番号	09 07 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分）			□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業	部局	農政部	課・室	農村振興課			
		実施期間	S42 ~	E-mail	noson@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）								
8つの重点目標	【社会増減】【就業率】							
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				2-5 地域に根差した産業の振興			
	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり							

## 1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ○県・市町村・JA・農業法人が一体となり、就農から定着までの就農促進活動により、意欲ある若い世代の新規就農者を確保・育成し、本県の農業生産を支える担い手の育成を目指す。 ○参入者・女性農業者など多様な担い手の経営発展の支援を行い、地域農業を担う中核的経営体として育成し、農業・農村を牽引するリーダー育成を目指す。 ○農業を志向する者等に対し、農業を学ぶ場の提供等を行い、農業・農村に多様な人材を呼び込み活性化を目指す。 【これまでの取組】 ○県下10広域ごとに就農促進プロジェクト協議会を設置し、関係機関と一体となった就農促進活動を展開。 ○就農前から就農後のレベルに応じ、県域または地域ごとに研修等を実施し、就農から定着、経営発展を支援。 ○「農ある暮らし相談センター」を開設し、相談対応にあたるとともに、SNSで農ある暮らしの魅力を発信。				
	令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) ・ 現状分析	<table border="1"> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で急増が見込まれる就農希望者のニーズを掴み、的確に対応することが必要。</li> <li>地方回帰への関心が高まる中、県外者に「農ある暮らし」の魅力を届け、移住促進へとつなげることが必要。</li> <li>コロナ禍で労力不足に見舞われた高原野菜産地等、外国人技能実習生に頼った生産構造からの転換が必要。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインによる全国各地から就農相談できる機会を提供し、コロナ禍における相談体制とサポートを強化。</li> <li>農ある暮らしのオンラインセミナー等、コロナ禍においても情報発信を継続するとともに、市町村と連携した取組みを強化。</li> <li>産業労働部と連携し、コロナ禍で急増する求職者への農業分野の情報発信を強化し、求人農家とのマッチングを推進。</li> </ul> </td> </tr> </table>	課 題	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で急増が見込まれる就農希望者のニーズを掴み、的確に対応することが必要。</li> <li>地方回帰への関心が高まる中、県外者に「農ある暮らし」の魅力を届け、移住促進へとつなげることが必要。</li> <li>コロナ禍で労力不足に見舞われた高原野菜産地等、外国人技能実習生に頼った生産構造からの転換が必要。</li> </ul>
課 題	今後の方向性				
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で急増が見込まれる就農希望者のニーズを掴み、的確に対応することが必要。</li> <li>地方回帰への関心が高まる中、県外者に「農ある暮らし」の魅力を届け、移住促進へとつなげることが必要。</li> <li>コロナ禍で労力不足に見舞われた高原野菜産地等、外国人技能実習生に頼った生産構造からの転換が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインによる全国各地から就農相談できる機会を提供し、コロナ禍における相談体制とサポートを強化。</li> <li>農ある暮らしのオンラインセミナー等、コロナ禍においても情報発信を継続するとともに、市町村と連携した取組みを強化。</li> <li>産業労働部と連携し、コロナ禍で急増する求職者への農業分野の情報発信を強化し、求人農家とのマッチングを推進。</li> </ul>				

## 2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>新たな就農相談システムを構築</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>就農相談員の増員によるオンライン就農相談会の増設（月2回→4回）</li> <li>県外就農希望者のニーズに対応するため、オンラインによる現地見学、面談会を実施</li> <li>農業大学校研修事業への映像配信講義の導入</li> </ul> </li> <li>✓ <b>移住促進のコンテンツとして「農ある暮らし」の情報発信を強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>農ある暮らしオンラインセミナーの開催</li> <li>農ある暮らしの検討、ファーストステップに役立つ「農ある暮らしガイドブック実践編」の発刊</li> <li>市町村、不動産会社等と連携した「農ある暮らし」のある移住促進</li> </ul> </li> <li>✓ <b>農業分野の雇用人材を安定的に確保していく仕組みの構築</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハローワークと連携した求人×求職マッチング（県下12のハローワークにおける個別相談会の開催）</li> <li>求職者の目を農業に向けたため、訴求力のある農業プロモーションの展開</li> <li>多様な雇用人材が就業、定着するため、農業の働き方改革の促進</li> <li>農家の意識醸成</li> </ul> </li> </ul>	<p>コロナ禍における就農相談から新規就農者研修修了までの流れ</p> <p>相談会以降もオンラインを活用したフォローアップ</p> <p>県外(感度多 急増地域)の 存在を 把握 ⇒ オンライン相談 ⇒ 現地見学 ⇒ 面談 ⇒ 農業体験 ⇒ 農業体験 ⇒ 農業体験 ⇒ 新規就農者研修開始</p>	<p>コロナ禍の求職者を 農業分野が支える！</p> <p>正規社員 派遣社員 非正規・パート</p> <p>農業分野 就農者のタイプ</p> <table border="1"> <tr> <th>通年雇用</th> <th>短期雇用</th> <th>パート</th> <th>副業</th> </tr> <tr> <td>農業法人 大規模経営体</td> <td>野菜農家 花き農家 果樹農家</td> <td>農産物直売所 選果場</td> <td>観光農園 等</td> </tr> </table>	通年雇用	短期雇用	パート	副業	農業法人 大規模経営体	野菜農家 花き農家 果樹農家	農産物直売所 選果場	観光農園 等
	通年雇用	短期雇用	パート	副業							
農業法人 大規模経営体	野菜農家 花き農家 果樹農家	農産物直売所 選果場	観光農園 等								
成果指標 設定理由	<ol style="list-style-type: none"> <li>農業生産の大宗を担う中核的経営体の確保・維持に向けて、同経営体へと育成する「新規就農者数」を設定 ※目標値：第3期長野県食と農業農村振興計画</li> <li>知事が地域農業のリーダーとして認定する「農業士」「農業経営士」及び「農村生活マイスター」の「認定数」を設定 ※目標値：活動母体となる支部数に基づき設定</li> <li>農業生産の大宗を担い、維持するために必要な「中核的経営体数」を設定 ※目標値：第3期長野県食と農業農村振興計画</li> <li>定年帰農や田舎暮らし等、多様な農ある暮らしに関する体験研修・セミナーの受講者数を設定 ※目標値：計画受講者数</li> <li>求人農家と求職者との就業マッチングの「成立件数」を設定 ※目標値：農業法人の雇用状況調査結果等に基づき設定</li> </ol>										

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]					事業 コスト	区分(単位:千円)				
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末 (見込)		R3年度 目標値	R1年度	R2年度	R3年度	
1	新規就農者数(45歳未満)	216人	190人	↓	200人	↑	231,771	3,463,492		
2	農業リーダーの認定者数	38人	35人	↓	37人	↑	1,165,957	1,086,126	要求 1,164,067 予算案 1,155,771	
3	中核的経営体数	9,707 経営体	9,693 経営体	↓	9,735 経営体	↑	3,326,804	1,181,759		
4	農ある暮らし体験研修・セミナーの受講者数	-	-		100人		4,724,532	5,731,377	要求 1,164,067 予算案 1,155,771	
5	就業マッチング成立件数	-	-		-		1,017,890	1,354,048	要求 41,330 予算案 31,973	
							決算額(B)	808,632		
							職員数(人)	17.9	17.9	17.9

成果指標 設定理由	<ol style="list-style-type: none"> <li>農業生産の大宗を担う中核的経営体の確保・維持に向けて、同経営体へと育成する「新規就農者数」を設定 ※目標値：第3期長野県食と農業農村振興計画</li> <li>知事が地域農業のリーダーとして認定する「農業士」「農業経営士」及び「農村生活マイスター」の「認定数」を設定 ※目標値：活動母体となる支部数に基づき設定</li> <li>農業生産の大宗を担い、維持するために必要な「中核的経営体数」を設定 ※目標値：第3期長野県食と農業農村振興計画</li> <li>定年帰農や田舎暮らし等、多様な農ある暮らしに関する体験研修・セミナーの受講者数を設定 ※目標値：計画受講者数</li> <li>求人農家と求職者との就業マッチングの「成立件数」を設定 ※目標値：農業法人の雇用状況調査結果等に基づき設定</li> </ol>
--------------	---

予算要求からの 主な変更点	農業リーダー育成事業について、研修会の開催方法の見直しにより経費を減額 農業トップランナー応援事業について、求人マッチング支援員を産業労働部のJobサボ事業内で展開することにより、経費を減額
------------------	--

事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業	部局	農政部	課・室	農村振興課
-----	--------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
1	農業リーダー育成事業	12,540 千円	7,983 千円	要求 7,511 予算案 7,380 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	農業リーダー認定・研修	直接	地域の営農やコミュニティ活動をけん引するリーダーを育成するため、農業リーダーの認定・研修等の支援を実施
2	農作業セーフティアップ事業（農作業安全の啓発）	直接	農作業死亡事故の削減を図るため、事故割合の高い高齢者の安全指導強化や、リスク回避対策の指導を実施

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
2	就農サポート事業	1,002,294 千円	901,533 千円	要求 906,955 予算案 906,955 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	新規就農サポート事業	補助金	県内外の就農希望を呼び込むため、相談活動やウェブサイトの運営を支援 補助・委託先（公社）長野県担い手育成基金
2	就農促進プロジェクト・体験研修支援事業	補助金	就農希望者の円滑な就農・定着化を進めるため、市町村・JA・農業法人等が一体となり就農促進活動や、体験研修受け入れを支援 補助先（県農業経営者協会、県農業法人協会）
3	農業人材力強化総合支援事業	補助金	就農希望者の円滑な就農を支援するため、研修資金や営農開始に要する資金を交付 農業教育・研修機関の農業教育の高度化・充実のための取組みを支援 補助先（市町村、八ヶ岳中央農業実践大学校等）
4	農業の未来の担い手支援事業	直接	若年層に農業を職業として選択できる環境を整えるため、農業理解を促すワークショップや農業法人見学会、インターンシップなどを実施

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
3	農業大学校研修事業	5,602 千円	23,388 千円	要求 26,659 予算案 26,659 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	就農支援・技術力向上支援・農とのふれあい研修	直接	就農希望者や参入者の就農を支援するため、農業の基礎知識や技術習得など多様なニーズに応える各種研修の実施

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
4	NAGANO農業女子ステップアップ支援事業	3,698 千円	3,333 千円	要求 1,216 予算案 1,216 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	スキルアップ・情報発信	直接	農業女子の経営発展と農業の魅力発信を図るため、マルシェ等の販促活動、スキルアップセミナー、女性のための就農オンラインセミナー・相談会を実施

事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業	部局	農政部	課・室	農村振興課
-----	--------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
5	農ある暮らし応援事業	10,898 千円	6,719 千円	要求 8,574 予算案 8,574 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	農ある暮らし応援事業	直接	農業未経験者の就農・定着を図るため、発信力を強化するとともに、農ある暮らしの相談・体験・学びの機会の提供	

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
6	農業トップランナー応援事業 (農業労働力の安定確保支援事業)	681 千円	1,186 千円	要求 14,226 予算案 6,061 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	JAと連携した特定技能外国人の受入れ体制の構築	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能実習生から特定技能外国人への転換拡大</li> <li>・長崎県からの受入拡大</li> <li>・特定技能外国人受入の他産地との連携（愛知、静岡）</li> </ul>	
2	雇用人材の確保支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求職者への農業プロモーションの展開</li> <li>・農業の働き方改革の推進（研修会の開催等）</li> </ul>	
3	農福連携の推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家及び福祉関係者の先進地視察・研修</li> <li>・農福連携プロモーションの展開による優良事例発信</li> <li>・福祉施設職員等農業技術取得研修の実施</li> <li>・お試しノウフクの取組による就農体験の展開</li> </ul>	

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
7	経営体育成支援事業	113,083 千円	141,984 千円	要求 198,926 予算案 198,926 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	経営体育成支援事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域農業の担い手となる経営体を育成するため、経営規模拡大等を図るために必要な農業用機械等の導入を支援</li> <li>補助先（市町村）</li> </ul>	